

**軽スーパーハイトワゴン『eKクロス スペース』『eKスペース』が
2020-2021日本カー・オブ・ザ・イヤー「K CAR オブ・ザ・イヤー」を受賞**

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 CEO：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、軽スーパーハイトワゴンの『eKクロス スペース』『eKスペース』が2020-2021日本カー・オブ・ザ・イヤー^{*1}の新たに創設された、総合的に優れた軽自動車を選出する部門賞である「K CAR オブ・ザ・イヤー」を受賞^{*2}したことを発表しました。



eKクロス スペース



eKスペース



2020-2021日本カー・オブ・ザ・イヤー
K CAR オブ・ザ・イヤー受賞

日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会主催

今回の受賞理由は以下の通りです。

「実用性の高いスーパーハイトワゴンながら、コントロールのしやすい、安定感の高い走行性能で軽自動車の水準を引き上げた。内装の質感やシートの座り心地も評価を集めた。さらに登録車と同等性能の先進安全運転支援システム『マイパイロット』の採用も大きな魅力になっている。」

三菱自動車は昨年、軽ハイトワゴン『eKクロス』『eKワゴン』で「スモールモビリティ部門賞」を受賞^{*3}しており、eKシリーズが2年連続で軽・スモールを対象とした部門賞を受賞しています。

力強いSUVテイストの『eKクロス スペース』とスタイリッシュで親しみやすい『eKスペース』は、クラストップの後席シートスライド量^{*4}や、足先でサッと開閉できるハンズフリーオートスライドドアにより、使い勝手の良い、広々とした快適な室内空間を提供します。またドライバーの負担を軽減する高速道路同一車線運転支援技術「マイパイロット (MI-PILOT)」と、乗る人すべてに安心・安全をサポートする予防安全技術「三菱 e-Assist」も装備し、三菱自動車らしさを追求した軽スーパーハイトワゴンとして好評を博しています。

また eK シリーズは、2001 年の初代『eK ワゴン』の発売から来年で 20 周年を迎えます。お客様にながく愛される真に“いい軽”を提供したいという想いで、その時代に求められる“いい軽”を追求。これまでの累計販売台数は 110 万台以上（2020 年 11 月末時点）となっており、多くのお客様にお乗りいただいています。

*1…日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会が主催

*2…日産『ルークス』と同時受賞

*3…日産『デイズ』と同時受賞

*4…軽スーパーハイトワゴンクラス=全高 1700 mm 以上かつ、エンジンをボンネット内に配置した軽自動車。2020 年 2 月自社調べ。

■2020-2021 日本カー・オブ・ザ・イヤーの概要

41 回目を迎えた今回の日本カー・オブ・ザ・イヤーは、2019 年 11 月 1 日から 2020 年 10 月 31 日までに日本国内で発表または発売された乗用車を対象としています。11 月 4 日に「10 ベストカー」が選出され、11 月 25 日の 10 ベストカー試乗会を経て選考委員による投票が行われ、12 月 7 日の最終選考会にて「2020-2021 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を決定。同時に、「インポート・カー・オブ・ザ・イヤー」、「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」、「テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー」、「パフォーマンス・カー・オブ・ザ・イヤー」、「K CAR オブ・ザ・イヤー」も決定しました。

< 『eK クロス スペース』の車種サイトはこちら >

https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/ek_x_space/index.html

< 『eK スペース』の車種サイトはこちら >

https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/ek_space/index.html

以上